

白川の昔をなつかしく思い出します。

炭焼きをかつこ悪い仕事だと思っていました。

小学校の帰り道いつも見ていました。幾日も火をくべて

煙の色が変わってきたとか、夜中に見に行っていたようです。

火口の前であたったり、もちを焼いて暖まってから家に帰ったものです。

炭だしの日は父母もどこもかもが黒人でした。

祖父がわらで編んだ俵に炭をいっぱい詰めてくれました。

なつかしい炭焼き小屋は今あまり見かけなくなりました・・・